

メキシコ株ファンド

運用報告書(全体版) 第8期

(決算日 2019年5月17日)

(作成対象期間 2018年11月20日～2019年5月17日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	約 5 年間（2015年 5 月 7 日～2020年 5 月15日）		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資 対 象	ベビーファンド	メキシコ株マザーファンドの 受益証券	
	メ キ シ コ 株 マザーファンド	イ. メキシコの金融商品取引 所上場および店頭登録（上 場予定および店頭登録予定 を含みます。）の株式およ び不動産投資信託証券（不 動産投資信託の受益証券お よび不動産投資法人の投資 証券をいいます。） ロ. メキシコの企業の D R （預託証券） ハ. メキシコの株価指数を対 象指数とした上場投資信託 証券（ E T F ）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率		無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率		
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売 買益（評価益を含みます。）等とし、原則とし て、基準価額の水準等を勘案して分配金額を 決定します。ただし、分配対象額が少額の場 合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申
上げます。

当ファンドは、メキシコの株式等に投資
し、信託財産の成長をめざしております。当
作成期につきましてもそれに沿った運用を行
ないました。ここに、運用状況をご報告申し
上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、
お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

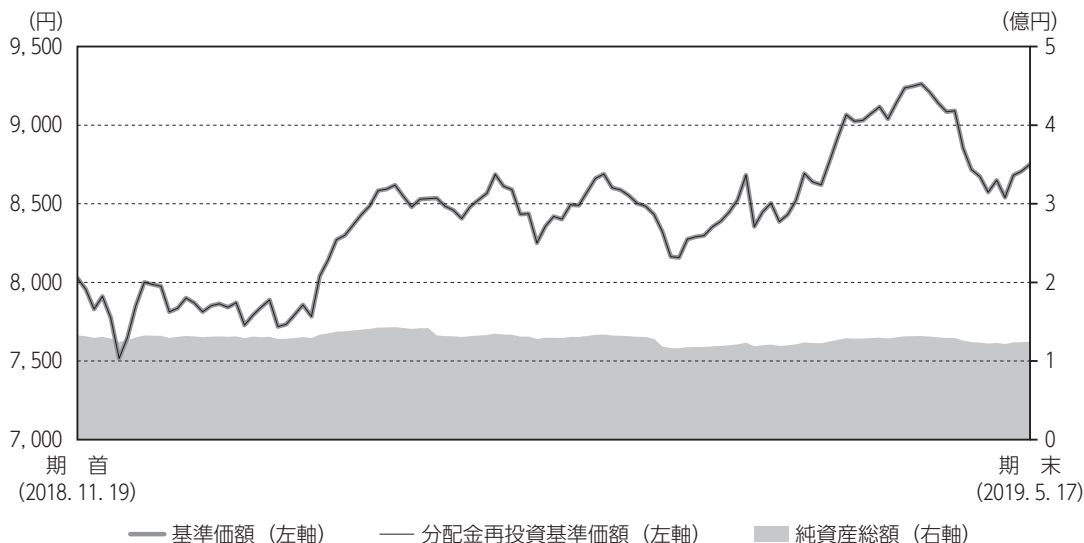
決 算 期	基 準 価 額			メキシコ ボルサ指数 (円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 証 券 組入比率	純資産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
4 期末 (2017年 5 月17日)	9, 243	0	21. 6	8, 558	23. 5	92. 7	—	4. 4	164
5 期末 (2017年11月17日)	8, 809	0	△ 4. 7	8, 124	△ 5. 1	93. 8	—	4. 9	165
6 期末 (2018年 5 月17日)	8, 809	0	0. 0	7, 526	△ 7. 4	90. 5	—	8. 4	197
7 期末 (2018年11月19日)	8, 027	0	△ 8. 9	6, 788	△ 9. 8	91. 1	—	1. 0	132
8 期末 (2019年 5 月17日)	8, 751	0	9. 0	7, 180	5. 8	93. 6	—	—	124

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) メキシコ ボルサ指数 (円換算) は、メキシコ ボルサ指数 (メキシコ・ペソベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10, 000として大和投資信託が計算したものです。
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期 首：8,027円

期 末：8,751円（分配金 0 円）

騰落率：9.0%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

オブラドール政権の経済政策に対する過度な懸念がやや後退したことにより、メキシコの株式市場や通貨は上昇しました。このような環境の中でメキシコ株式に投資した結果、保有していたメキシコ株式が現地通貨建てで上昇したことに加えて為替相場でメキシコ・ペソが対円で上昇したため、基準価額は上昇しました。

メキシコ株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		メキシコ ボルサ指数 (円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首) 2018年11月19日	円 8,027	% —	6,788	% —	% 91.1	% —	% 1.0
11月末	8,001	△ 0.3	6,747	△ 0.6	91.6	—	1.0
12月末	7,857	△ 2.1	6,703	△ 1.3	96.4	—	1.0
2019年 1 月末	8,406	4.7	7,136	5.1	97.2	—	1.2
2 月末	8,588	7.0	7,183	5.8	98.2	—	—
3 月末	8,431	5.0	7,060	4.0	98.7	—	—
4 月末	9,091	13.3	7,584	11.7	93.4	—	—
(期末) 2019年 5 月17日	8,751	9.0	7,180	5.8	93.6	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 11. 20 ~ 2019. 5. 17)

■メキシコ株式市況

メキシコ株式市況は上昇しました。

メキシコ株式市況は、当作成期首より下落して始まりました。2018年12月にかけては、与党 MORENA（国家再生運動）が銀行の手数料収入を制限する法案や鉱山会社に対する規制強化法案を提案するなど、民間企業の業績に悪影響を与える政策が次々に浮上したため、株式市況は調整が続きました。しかしその後は、オブラドール政権が財政規律を重視した2019年の予算案を提出したことや、銀行手数料に関する法案などを前に進めない方針を示したため、同政権の経済政策への懸念が後退し、上昇に転じました。また、米国と中国の対話が進展の兆しを見せたため貿易摩擦に対する懸念が和らいだことや、F R B（米国連邦準備制度理事会）が当面利上げを行わない方針を示したことなどが好感され、株式市場は上昇しました。

■為替相場

メキシコ・ペソは対円で上昇しました。

当作成期首から2018年12月にかけてのメキシコ・ペソは、オブラドール政権の経済政策への懸念が高まり、軟調な展開となりました。しかし、同政権が財政規律を重視した2019年予算案を提出したことや、銀行手数料に関する法案などを前に進めない方針を示したことなどが好感され、2019年初めにかけて反発しました。また、米国と中国間の貿易摩擦への懸念が後退したことや、F R B（米国連邦準備制度理事会）が当面利上げを行わない方針を示したことなどを背景に、メキシコ・ペソは上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率は高位とする方針です。

■メキシコ株マザーファンド

メキシコシティ新空港の建設中止に関して、軍用空港と現空港の併用案の安全性や効率性、意見調査の実施の方法に対する疑問点などについて、次期政権が真摯に回答しないまま建設中止を表明したことが市場に驚きを与えました。その後も、銀行手数料の制限や鉱山会社に対する増税が法案として浮上し、影響を受ける可能性のある企業の株価が下落しました。次期政権の経済政策運営に懸念が高まっている状態の中、当面は市場が不安定な状態が続くとみられます。一方で、強い不安感を反映してメキシコ株式市場はすでに魅力的と考えられるバリュエーション水準で取引されています。状況を過度に悲観視するのではなく、冷静に政策を見極め、業績見通しや株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行い、中長期的な当ファンドの基準価額上昇をめざしてポートフォリオを構築する方針です。

ポートフォリオについて

(2018. 11. 20 ~ 2019. 5. 17)

■当ファンド

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、株式組入比率を高位としました。

■メキシコ株マザーファンド

当作成期は、株式組入比率を高位とし、経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築しました。

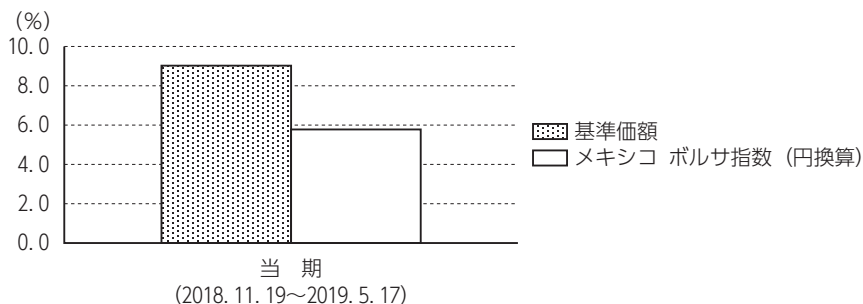
個別銘柄では、銀行手数料の制限法案などへの懸念から株価が大幅に下落し、割安な水準で取引されていた銀行 REGIONAL（金融）や銀行 GRUPO FINANCIERO BANORTE（金融）、低価格を売りに安定したペースで売上げを伸ばしている小売会社 WALMART DE MEXICO（生活必需品）などを買い付けました。一方で、株価上昇により相対的な魅力が薄れたと判断した銀行 BANCO SANTANDER MEXICO（金融）や金融サービス BOLSA MEXICANA DE VALORES（金融）、メキシコやブラジルの業績が予想に対して伸び悩んだ AMERICA MOVIL（コミュニケーション・サービス）などを売り付けました。

足元のポートフォリオは、業種では、銀行を中心とした金融セクターや食品会社を中心とした生活必需品セクターを高位の組み入れとしました。個別銘柄では、銀行 GRUPO FINANCIERO BANORTE（金融）や通信会社 MEGACABLE（コミュニケーション・サービス）などを高位の組み入れとしました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数（メキシコ ボルサ指数（円換算））との騰落率の対比です。参考指数はメキシコ株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2018年11月20日 ～2019年5月17日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	271

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

 今後の運用方針

■当ファンド

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率は高位とする方針です。

■メキシコ株マザーファンド

オブラドール政権の経済政策運営に対する懸念は高止まりしているため、政策によっては株式市場が不安定な状態に戻る可能性は残っています。しかし、現政権は財政面の厳しさについても認識しているとみられることから、極端に左派的政策が採用される可能性は低く、政策を過度に懸念する必要はないと考えています。また、不安感を反映して、メキシコ株式市場はすでに魅力的と考えられるバリュエーション水準で取引されています。冷静に政策を見極め、業績見通しや株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行い、中長期的な当ファンドの基準価額上昇をめざしてポートフォリオを構築する方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 11. 20～2019. 5. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	74円	0. 874%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8, 412円です。
(投 信 会 社)	(36)	(0. 424)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(36)	(0. 424)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0. 026)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	10	0. 122	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(10)	(0. 119)	
(投資信託証券)	(0)	(0. 003)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	31	0. 368	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(30)	(0. 357)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0. 009)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	115	1. 364	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

メキシコ株ファンド

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年11月20日から2019年 5月17日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
メキシコ株 マザーファンド	2,991	2,500	25,566	23,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2018年11月20日から2019年 5月17日まで)

項 目	当 期
	メキシコ株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	73,848千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	123,787千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.59

(注 1) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

期首保有額	期中設定額	期中解約額	期末保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
100	—	—	100	当初設定時における取得

(注 1) 金額は元本ベース。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
メキシコ株 マザーファンド	154,784	132,208	124,342

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年 5月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
メキシコ株マザーファンド	124,342	98.9
コール・ローン等、その他	1,364	1.1
投資信託財産総額	125,706	100.0

- (注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝110.00円、1メキシコ・ペソ＝5.76円です。
(注 3) メキシコ株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(123,611千円)の投資信託財産総額(124,345千円)に対する比率は、99.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年 5月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	125,706,566円
コール・ローン等	1,364,050
メキシコ株マザーファンド（評価額）	124,342,516
(B) 負債	1,134,572
未払信託報酬	1,131,202
その他未払費用	3,370
(C) 純資産総額（A－B）	124,571,994
元本	142,354,214
次期繰越損益金	△ 17,782,220
(D) 受益権総口数	142,354,214口
1万口当り基準価額（C／D）	8,751円

- * 期首における元本額は165,183,991円、当作成期間中における追加設定元本額は4,008,343円、同解約元本額は26,838,120円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,751円です。
* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は17,782,220円です。

■損益の状況

当期 自 2018年11月20日 至 2019年 5月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 133円
受取利息	4
支払利息	△ 137
(B) 有価証券売買損益	11,476,916
売買益	12,627,959
売買損	△ 1,151,043
(C) 信託報酬等	△ 1,134,695
(D) 当期損益金 (A + B + C)	10,342,088
(E) 前期繰越損益金	△ 18,186,620
(F) 追加信託差損益金	△ 9,937,688
(配当等相当額)	(1,238,140)
(売買損益相当額)	(△ 11,175,828)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 17,782,220
次期繰越損益金 (G)	△ 17,782,220
追加信託差損益金	△ 9,937,688
(配当等相当額)	(1,238,140)
(売買損益相当額)	(△ 11,175,828)
分配準備積立金	2,624,368
繰越損益金	△ 10,468,900

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：354,662円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,388,616円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	1,238,140
(d) 分配準備積立金	1,235,752
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,862,508
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	3,862,508
(h) 受益権総口数	142,354,214口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

メキシコ株マザーファンド

運用報告書 第8期（決算日 2019年5月17日）

（作成対象期間 2018年11月20日～2019年5月17日）

メキシコ株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。） ロ. メキシコの企業のDR（預託証券） ハ. メキシコの株価指数を対象指数とした上場投資信託証券（ETF）
株式組入制限	無制限

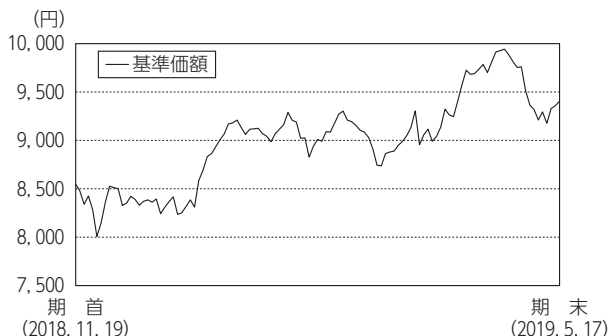
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		メキシコ ボルサ指数 (円換算)		株式 組入 比率	株式 先物 比率	投資信託 証券 組入比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率	%	%	%
(期首) 2018年11月19日	8,549	—	6,788	—	91.3	—	1.0
11月末	8,526	△ 0.3	6,747	△ 0.6	91.7	—	1.0
12月末	8,385	△ 1.9	6,703	△ 1.3	96.6	—	1.0
2019年 1 月末	8,987	5.1	7,136	5.1	97.4	—	1.2
2 月末	9,194	7.5	7,183	5.8	98.4	—	—
3 月末	9,039	5.7	7,060	4.0	98.9	—	—
4 月末	9,761	14.2	7,584	11.7	93.6	—	—
(期末) 2019年 5 月17日	9,405	10.0	7,180	5.8	93.8	—	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) メキシコ ボルサ指数 (円換算) は、メキシコ ボルサ指数 (メキシコ・ペソベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：8,549円 期末：9,405円 騰落率：10.0%

【基準価額の主な変動要因】

オブラドール政権の経済政策に対する過度な懸念がやや後退したことにより、メキシコの株式市場や通貨は上昇しました。このような環境の中でメキシコ株式に投資した結果、保有していたメキシコ株式が現地通貨建てで上昇したことに加えて、為替相場でメキシコ・ペソが対円で上昇したため、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○メキシコ株式市況

メキシコ株式市況は上昇しました。

メキシコ株式市況は、当作成期首より下落して始まりしました。2018年12月にかけては、与党MORENA (国家再生運動) が銀行の手数料収入を制限する法案や鉱山会社に対する規制強化法案を提案するなど、民間企業の業績に悪影響を与える政策が次々に浮上したため、株式市況は調整が続きました。しかしその後は、オブラドール政権が財政規律を重視した2019年の予算案を提出したことや、銀行手数料に関する法案などを前に進めない方針を示したため、同政権の経済政策への懸念が後退し、上昇に転じました。また、米国と中国の対話が進展の兆しを見せたため貿易摩擦に対する懸念が和らいだことや、F R B (米国連邦準備制度理事会) が当面利上げを行わない方針を示したことなどが好感され、株式市場は上昇しました。

○為替相場

メキシコ・ペソは対円で上昇しました。

当作成期首から2018年12月にかけてのメキシコ・ペソは、オブラドール政権の経済政策への懸念が高まり、軟調な展開となりました。しかし、同政権が財政規律を重視した2019年予算案を提出したことや、銀行手数料に関する法案などを前に進めない方針を示したことなどが好感され、2019年初めにかけて反発しました。また、米国と中国間の貿易摩擦への懸念が後退したことや、F R B (米国連邦準備制度理事会) が当面利上げを行わない方針を示したことなどを背景に、メキシコ・ペソは上昇しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

メキシコシティ新空港の建設中止に関して、軍用空港と現空港の併用案の安全性や効率性、意見調査の実施の方法に対する疑問点などについて、次期政権が真摯に回答しないまま建設中止を表明したことが市場に驚きを与えました。その後も、銀行手数料の制限や鉱山会社に対する増税が法案として浮上し、影響を受ける可能性のある企業の株価が下落しました。次期政権の経済政策運営に懸念が高まっている状態の中、当面は市場が不安定な状態が続くとみられます。一方で、強い不安感を反映してメキシコ株式市場はすでに魅力的と考えられるバリュエーション水準で取引されています。状況を過度に悲観視するのではなく、冷静に政策を見極め、業績見通しや株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行い、中長期的な当ファンドの基準価額上昇をめざしてポートフォリオを構築する方針です。

◆ポートフォリオについて

当作成期は、株式組入比率を高位とし、経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築しました。

個別銘柄では、銀行手数料の制限法案などへの懸念から株価が大幅に下落し、割安な水準で取引されていた銀行 REGIONAL (金融) や銀行 GRUPO FINANCIERO BANORTE (金融)、低価格を売りに安定したペースで売上げを伸ばしている小売会社 WALMART DE MEXICO (生活必需品) などを買い付けました。一方で、株価上昇

メキシコ株マザーファンド

により相対的な魅力が薄れたと判断した銀行 BANCO SANTANDER MEXICO（金融）や金融サービス BOLSA MEXICANA DE VALORES（金融）、メキシコやブラジルの業績が予想に対して伸び悩んだ AMERICA MOVIL（コミュニケーション・サービス）などを売り付けました。

足元のポートフォリオは、業種では、銀行を中心とした金融セクターや食品会社を中心とした生活必需品セクターを高位の組み入れとしました。個別銘柄では、銀行 GRUPO FINANCIERO BANORTE（金融）や通信会社 MEGACABLE（コミュニケーション・サービス）などを高位の組み入れとしました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数（メキシコ ボルサ指数（円換算））の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

参考指数はメキシコ株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

オブラドール政権の経済政策運営に対する懸念は高止まりしているため、政策によっては株式市場が不安定な状態に戻る可能性は残っています。しかし、現政権は財政面の厳しさについても認識しているとみられることから、極端に左派的政策が採用される可能性は低く、政策を過度に懸念する必要はないと考えています。また、不安感を反映して、メキシコ株式市場はすでに魅力的と考えられるバリュエーション水準で取引されています。冷静に政策を見極め、業績見通しや株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行い、中長期的な当ファンドの基準価額上昇をめざしてポートフォリオを構築する方針です。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	11円 (11) (0)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	33 (32) (1)
合 計	44

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(2018年11月20日から2019年 5 月17日まで)					
		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	メキシコ	百株 826 (—)	千メキシコ・ペソ 5, 168 (△ 20)	百株 2, 135. 6	千メキシコ・ペソ 7, 727

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) () 内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2018年11月20日から2019年 5 月17日まで)					
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	メキシコ	千口 — (—)	千メキシコ・ペソ — (△ 2)	千口 11 (—)	千メキシコ・ペソ 288 (—)

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) 買付 () 内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 売付 () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 4) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

(1)株 式

(2018年11月20日から2019年5月17日まで)

当 期				期 末			
買 付		金 額		売 付		金 額	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
REGIONAL SAB DE CV (メキシコ)	9.7	5,477	564	AMERICA MOVIL SAB DE C-SER L (メキシコ)	67	5,653	84
GRUPO FINANCIERO BANORTE-O (メキシコ)	7.3	4,069	557	BANCO SANTANDER MEXICO SA IN (メキシコ)	34.8	5,448	156
WALMART DE MEXICO SAB DE CV (メキシコ)	11	3,110	282	GRUPO CEMENTOS CHIHUAHUA (メキシコ)	7.7	4,616	599
MEGACABLE HOLDINGS-CPO (メキシコ)	5.9	2,944	499	BOLSA MEXICANA DE VALORES SA (メキシコ)	17.5	3,704	211
BANCO DEL BAJIO SA (メキシコ)	11.4	2,470	216	GRUPO FINANCIERO BANORTE-O (メキシコ)	5.3	3,455	652
INDUSTRIAS BACHOCO-SER B (メキシコ)	5.5	2,085	379	GRUPO MEXICO SAB DE CV-SER B (メキシコ)	10.5	3,064	291
GRUPO CEMENTOS CHIHUAHUA (メキシコ)	3.3	1,951	591	FOMENTO ECONOMICO MEXICA-UBD (メキシコ)	2.9	2,868	989
GRUPO TELEvisa SAB-SER CPO (メキシコ)	6.6	1,862	282	TELESITES SAB DE CV (メキシコ)	38.06	2,813	73
LA COMER SAB DE CV (メキシコ)	12.5	1,448	115	GRUPO AEROPORTUARIO DEL CENT (メキシコ)	3.9	2,514	644
GRUMA S. A. B. -B (メキシコ)	1.1	1,404	1,276	GRUPO AEROPORT DEL PACIFIC-B (メキシコ)	2.1	2,089	995

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2)投資信託証券

(2018年11月20日から2019年5月17日まで)

当 期				期 末			
買 付		金 額		売 付		金 額	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				FIBRA UNO ADMINISTRACION SA (メキシコ)	11	1,670	151

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国株式

銘柄	期首		当期		期末		業種等
	株数	株数	評価額				
			外貨建金額	邦貨換算金額			
(メキシコ)	百株	百株	千メキシコ・ペソ	千円			
INDUSTRIAS BACHOCO-SER B	84.95	104.95	914	5,264	生活必需品		
GRUPO AEROPORTUARIO DEL CENT	134	95	1,110	6,398	資本財・サービス		
UNIFIN FINANCIERA SAB DE CV	108	56	243	1,405	金融		
MEGACABLE HOLDINGS-CPO	130	189	1,573	9,061	コミュニケーション・サービス		
QUALITAS CONTROLADORA SAB CV	220	220	1,115	6,425	金融		
LA COMER SAB DE CV	337	462	947	5,457	生活必需品		
GRUPO CEMENTOS CHIHUAHUA	114	70	747	4,307	素材		
BANCO DEL BAJIO SA	212	267	1,063	6,128	金融		
BANCO SANTANDER MEXICO SA IN	348	—	—	—	金融		
REGIONAL SAB DE CV	—	97	973	5,606	金融		
GRUPO AEROPORT DEL PACIFIC-B	90	69	1,303	7,510	資本財・サービス		
AMERICA MOVIL SAB DE C-SER L	1,450	780	1,071	6,173	コミュニケーション・サービス		

メキシコ株マザーファンド

銘柄		期首	当	期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	百株	千メキシコ・ペソ	千円	
GRUPO TELEvisa SAB-SER CPO		120	146	527	3, 035	コミュニケーション・サービス
TELESITES SAB DE CV		848. 61	468. 01	622	3, 585	コミュニケーション・サービス
GRUMA S. A. B. -B		65	69	1, 346	7, 753	生活必需品
FOMENTO ECONOMICO MEXICA-UBD		29	—	—	—	生活必需品
BOLSA MEXICANA DE VALORES SA		393	278	1, 001	5, 767	金融
ARCA CONTINENTAL SAB DE CV		129	137	1, 482	8, 539	生活必需品
INFRAESTRUCTURA ENERGETICA N		174	144	1, 188	6, 847	公益事業
GRUPO MEXICO SAB DE CV-SER B		263	158	797	4, 594	素材
WALMART DE MEXICO SAB DE CV		—	110	598	3, 445	生活必需品
GRUPO FINANCIERO BANORTE-O		125	145	1, 613	9, 291	金融
ファンド合計	株数金額	5, 374. 56	4, 064. 96	20, 243	116, 602	
	銘柄数＜比率＞	20 銘柄	20 銘柄		<93. 8%>	

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。
(注 3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2)外国投資信託証券

銘柄		期首	当	期末	
		□数	□数	評価額	
		千□	千□	外貨建金額 千メキシコ・ペソ	邦貨換算金額 千円
(メキシコ) FIBRA UNO ADMINISTRACION SA		11	—	—	—
合計	□数、金額	11	—	—	—
	銘柄数 < 比率 >	1 銘柄	—		<—>

■投資信託財産の構成

2019年 5月17日現在

項 目	当 期	期 末
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	116, 602	93. 8
コール・ローン等、その他	7, 743	6. 2
投資信託財産総額	124, 345	100. 0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝110. 00円、1メキシコ・ペソ＝5. 76円です。
(注 3) 当期末における外貨建純資産 (123, 611千円) の投資信託財産総額 (124, 345千円) に対する比率は、99. 4% です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年5月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	124,345,378円
コール・ローン等	7,186,430
株式（評価額）	116,602,219
未収入金	120,424
未収配当金	436,305
(B) 負債	12
その他未払費用	12
(C) 純資産総額（A－B）	124,345,366
元本	132,208,949
次期繰越損益金	△ 7,863,583
(D) 受益権総口数	132,208,949口
1万口当り基準価額（C／D）	9,405円

* 期首における元本額は154,784,851円、当作成期間中における追加設定元本額は2,991,085円、同解約元本額は25,566,987円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、メキシコ株ファンド132,208,949円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,405円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は7,863,583円です。

■損益の状況

当期 自 2018年11月20日 至 2019年5月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,647,952円
受取配当金	1,646,478
受取利息	1,760
支払利息	△ 286
(B) 有価証券売買損益	11,347,303
売買益	16,508,426
売買損	△ 5,161,123
(C) その他費用	△ 473,955
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	12,521,300
(E) 前期繰越損益金	△ 22,460,785
(F) 解約差損益金	2,566,987
(G) 追加信託差損益金	△ 491,085
(H) 合計（D＋E＋F＋G）	△ 7,863,583
次期繰越損益金（H）	△ 7,863,583

（注1）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。